

国語科 1 年

情報を整理して書こう

担当 恵藤美貴

【活動の目標】

集めた情報を比較したり分類したりして整理し、目的や相手に応じて伝えたいことを明確にして書くことができる。

【 問 い 】

- ・指導前に C B で 4 0 0 字の作文を書かせることで、書くことに苦手意識や抵抗感のある生徒にも意欲的に取り組ませる。(問いの工夫 I)
- ・指導後の文章について、コメント機能を用いることで時間をかけて丁寧に読んで相互批評をさせる。(問いの工夫 II)

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
B4 指導前に「〇〇の魅力を伝えよう」というテーマで google ドキュメントで 400 字の作文をさせる。	作文用紙を印刷・配布し、原稿用紙の使い方に従って書かせる。
A1 マッピング・観点別表・構成メモの例、デジタル教科書等を拡大して提示し、指導した。	黒板に書いたり、拡大したものを掲示したりして提示する。教科書のページ数を示し、教師の判読とともに教科書に印をつけて確認させる。
C2 授業で書き方の指導したのち、同じテーマでもう一度書いた文章にコメントを付けあう。	原稿用紙を班で回し、付箋にコメントを書いて貼り付けて返す。読んだり書いたりする速度が異なるため、時差の調整が必要になる。

【資料】 生徒が作成したレポート

おすすめ of 音楽 一年 A組 生徒 1

私がおすすめしたいのは、ボーカロイド曲、通称ボカロと呼ばれる音楽だ。

ボカロはボーカロイドという人間のリアルな声をデータにして機械に歌わせるソフトに歌わせている音楽のことで、人間には出せない声の音域やどこか機械の無感情な部分が残る声を上手く利用し、人間が歌っているのはまた違ったように捉えることができる。ところがとても魅力的で、ボカロを作っているボカロ P と呼ばれる人達それぞれの個性やメッセージ性に溢れた歌詞も素敵で、気づけば口ずさんでいるほど夢中になってしまう。

また、近年はボーカロイド達も進化しておりがなりや巻き舌、吐息など機械で表すのは難しかった声の表現を習得しているボーカロイドも増えてきている。

このように、年々素晴らしいと技術が進化しているボカロを気が向いたときにでもいろいろ是非聴いてみてほしい。

おすすめ of 音楽 1-A組 生徒 1

私はボーカロイド曲、通称ボカロをお薦めする。ボカロとはデータ化した人の声を学ばせた機械、ボーカロイドが歌う音楽のことだ。

まずボーカロイドについて話したい。ボーカロイドの魅力は声だ。人間は声に感情がこもる為、どんな感情の歌かが大体想像できてしまう。だがボーカロイドの声には機械らしい無感情が残る。なのでその声が怒っているのか、悲しいのか聞き手一人ひとりの捉え方が生まれ、想像するのがとても楽しい。

次にボカロを生み出すボカロ P という人達についてだ。ボカロ P 達は一人ひとりとても個性的で、作る歌詞や曲調にもその個性が反映されている。また、歌詞からメッセージが考察できるものも多く、隠されたメッセージに気づくとよりその曲を好きになれる。

また、最近ではスベックの高いボーカロイドも大勢出ており、ボカロ P の多様性も進んでいる。きっと好みにあった曲や声が見つかると思うので是非聴いてみてほしい。

生徒 2

最初に説明をしているので分かりやすい!

生徒 3

具体的なものを示しているので分かりやすいです。

(左) 単元冒頭で指導前に書かせた文章。

(右) 指導後に書かせた文章と改善した部分を評価したコメント。

【ICT 機器を活用する良さ】

- 書くことに抵抗がある生徒が意欲的に取り組む。
- 文字を書くことが苦手な生徒の字を正確に読める。
- 一斉に同じ文章へコメントできる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・誰がどういふ作業をしているかが見えづらい。
- ⇒原因 ブック型の死角となる手元で作業をするため。
- ⇒改善案など IT 機器の正しい利用法を学ばせる。
- ※縦書きで文書作成ができたり、原稿用紙のフォーマットが利用できるようになれば、国語科としてもより有効に活用できると考える。